

令和6年度 大浦小学校 学力向上プラン

学校教育目標：大浦を愛し 人とつながり 世界につながる

進んで学び、互いに高め合う子ども 【思考力、判断力、表現力等の育成】

- 自分の考えを伝え、友達の考えを聞き、さらに自分の考えを深める。
- グループで考えたり調べたりし、発表したりすることで、考えを深める。

筋道を立てて自分の思いや考えを伝えることができる力の育成

誰に対しても優しく、正しい子ども 【学びに向かう力・人間性の涵養】

- 授業を振り返り、学んだことやできるようになったことを、次につなげる。
- 自分の変容や成長を確かめながら、目標をもって努力する。

自分の思いや考えを進んで伝えようとする意欲や態度の育成

困難に立ち向かい、努力する子ども 【知識及び技能の習得】

- 「できた」「わかった」の体験を通して、知識・技能を身に付ける。
- 分からなかった問題はそのままにせず解決する。

筋道を立てて考えるためのスキルの習得

一徹底・継続— 「進んで学び、互いに高め合う子の育成」

～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科指導を通して～

重点目標

- 【低】 絵や図、半具体物などの操作を通して、自分の考えを話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【中】 言葉や数、式、図、表などを用いて、自分の考えをもち、理由を明確にして説明したり、友達の言いたいことに気を付けて聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【高】 言葉や数、式、図、表を用いて、筋道を立てて考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えたり友達の考えを比べて聞いたりしながら考え、表現できる子ども
- 【特】 教師と一緒に考えながら、自分の考えをもち、表現できる子ども

★各学力調査結果との比較★

3年	国語	◎	算数	○
4年	国語	○	算数	○
5年	国語	▽	算数	—
6年	国語	▽	算数	▽
	理科	○		

授業改善の推進

【協働的な学びの充実】

- 「学習ルールやマナー」「算数の学習の進め方」「かしこくなる算数ノート」等を通じた、大浦スタンダードに沿った学びの定着
- 学年に応じた、対話的で深い学びの研究（考えを「広げる」「深める」問い返し）
- 発達段階に応じ、端末を活用し、個別最適な学びを充実
- 端末のICT機器の活用研修

【学習意欲の向上】

- 教材との出会い（提示の仕方の工夫・端末やICT機器の活用等）
- 全職員で、「主体性や意欲が育まれる授業展開」の共有を図る
- 端末のルール作りや、持ち帰りのマニュアル作成
- 特別支援教育研修会の開催
- 生活習慣に関するアンケート

【知識・技能の定着】

- 考えを「広げる」「深める」ために、考えを「書く」時間の充実（言語活動の充実）
- 基礎基本の定着と少人数指導
- AI型教材Qubenaの取組の充実（ワークブックの配信も含む）
- 低・中・高別の「家庭学習のてびき」を作成し、宿題と自学等の家庭学習に関する資料の検討・啓発

◆課題を踏まえた、2学期以降の各学年で重点化する学習内容・取組

1年	【国語】「は・を・へ」を正しく使って、自分の気持ちや理由を書く活動を実践する。	2年	【国語】文の構成（はじめ・なか・おわり）に気を付けて、経験したことや自分の思いを書く力を育成する。
	【算数】たし算・ひき算の基礎・基本の定着を図り、自分の考えを言葉で表現する力を育成する。		【算数】たし算、ひき算、かけ算などの基礎・基本の定着を図り、自分の考えを、言葉や図などを使って表現する力を育成する。
3年	【国語】行幸作文、感想、1分間スピーチ等の作文を書く活動において、「主語・述語」を明確にするともに、段落相互の関係に注意して文章の構成を考える活動を実践する。	4年	【国語】主語・述語と文章構成を意識して読む活動や、目的や条件に応じて書く活動を実践する。
	【算数】適切な単位を理解し、かさの量感を視覚的に捉える。式・図表等を用いて、理由を明確にして説明したり、聞いたりしながら考え、表現できる力を育成する。		【算数】自分の考えを、式や算数ツールを用いて表し、友達に説明したり、分からないことを質問したりする対話的な活動を実践する。
5年	【国語】目的や意図に応じて、文章構成を意識しながら、自分の考えや意見が伝わるように書く活動を実践する。	6年	【国語】単元終末での書く活動を通して、自分の思いや考えが伝わるように工夫し、分類したり関係付けたりして、伝え合う活動を実践する。
	【算数】自分の考えを式、図、数直線などを用いて表し、根拠を明確にして説明したり、友達の考えを聞いたりして、数学的な見方・考え方を広げるための対話的な活動を実践する。		【算数】授業終末、単元終末では演習問題を解かせ、学習内容の定着を図る。また、筋道を立てて考え、根拠を明確にして説明を書き、伝え合う活動を実践する。